

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年10月7日 NO.22

子ども達一人一人が輝いた運動会：速報その2

選手宣誓

ぼくたち・わたしたちは、
これまで練習してきたことを
全て出し切り、これまでにない
最高の運動会にすることを
誓います。

赤組応援団長 Oさん

白組応援団長 Tくん



1年生のこたば（児童代表の言葉）

ぼくは、チェッコリたまいれで、たかくなげていっぱいいれます。(Kくん)

わたしは、あいうえおんがくをかつこよくおどりたいです。(Hさん)

ぼくは、かつこよくげんきにおどりたいです。(Nくん)

わたしは、50メートルそうで、うでをたくさんふって1いになりたいです。

(Oさん)

みんなで がんばります。さいごまで おうえんしてください。

(1年生みんな)

6年生の言葉（閉会の言葉）

がんばって取り組んできた運動会が終わろうとしています。自分の力を出し切れたでしょうか。出し切れた人が大半だと思います。今、勝って喜んでいる人も負けてくやしんでいる人も、自分の力を出し切り運動会を楽しめたことが、私はいいことだと思います。1・2年生は、楽しく元気に、3・4年生はしっかり真剣に、5・6年生は協力・リードできて、とてもいい運動会になったのではないのでしょうか。

私個人では、小学校最後の運動会だったので、一生懸命に取り組みました。特に、組体操では、約1ヶ月前から5年生と一緒に取り組んできました。今日、成功できたのは、一人一人が気をつけるという意識や助けあいがあったからだと思います。

私は、組体操だけではなく、他の学年もダンスや伝統舞踊、それぞれの競技を一生懸命がんばってきたことは、今後の学校生活にもつながっていくと思います。これを生かして団結し、七小が明るく元気になってほしいです。(6年 Oさん・Gさん)

